

学校事故防止の徹底と不祥事の絶無
～学校教育を支える基盤づくり～

学校教育課通信

令和6年10月29日（火） 第201号
編集・発行：県南教育事務所 橋本美弥子

ご協力ありがとうございました ～令和6年度 学校運営支援訪問終了～

令和6年度学校運営支援訪問が終了しました。実施に際してご対応いただきました該当校の校長先生をはじめとした教職員の皆様、そして、各市町村教育委員会の担当者の皆様には、この場をお借りして御礼申し上げます。ご協力ありがとうございました。

【令和6年度 学校運営支援訪問実施校】

白河第三小学校	白河第五小学校	みさか小学校	大信小学校
小田倉小学校	滑津小学校	善郷小学校	泉崎第二小学校
棚倉小学校	社川小学校	埴小学校	白河第二中学校
東中学校	西郷第一中学校	泉崎中学校	棚倉中学校

【全16校】

学校運営支援訪問は、①学校管理運営改善のための支援②学校施設・設備等の適切な維持管理についての支援を行うことを主な目的として実施しました。

今回の学校運営支援訪問を各学校の管理運営、特に学校事故防止に役立てていただくために、訪問した学校で行われていた工夫について紹介します。

熱中症予防対策 ～危険度の把握～

今年も大変暑い夏でした。各学校においては、熱中症予防対策に苦心されたことと思います。

「学校における熱中症対策ガイドライン作成の手引き（令和6年4月 追補版）3.チェックリスト」によれば、学校における熱中症事故対策のための日頃の環境整備等として「活動実施前に活動場所における暑さ指数等により熱中症の危険度を把握できる環境を整える」ことが示されています。WBGT（暑さ指数）計として、様々なタイプが販売されていますが、携帯して校外学習等でも計測や確認ができるタイプや体育館に設置しておくタイプなどを各学校に複数備えておくことにより安心です。



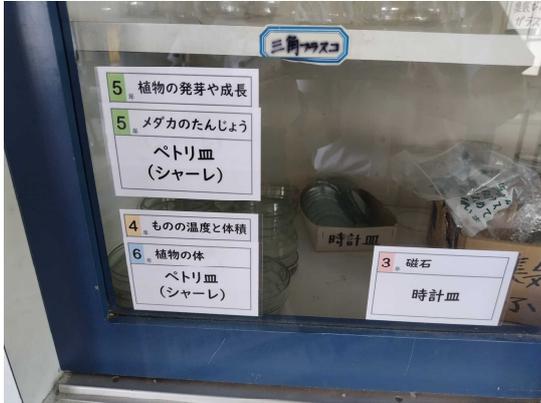
ある中学校の体育館に設置されたWBGT計と掲示物です。

WBGT計の見方や注意事項等を併せて掲示することで、子ども達自身の安全管理意識を育てることもつながりますね。

理科室 ～教材・教具の管理の工夫～

ある小学校の理科室の戸棚です。

収納している実験器具を表示しておくことは、どこの学校でも行っていることですが、この学校では、ひと工夫をしています。



実験器具の名称だけでなく、その実験器具を使用する**学年**と**単元**も併せて表示しています。

このように表示することで、授業者が実験器具を用意する際や片付ける際の負担が軽減されますね。

理科室 ～廃液の処理～

理科の化学実験で生じた廃液をどのように処理されているのでしょうか。訪問した多くの学校では、写真のように液性毎のポリタンクを用意し、保存してから処理されていました。

小学校の場合は、酸性用とアルカリ性用の2つでよいでしょう。中学校では、金属廃液用のものも用意しておくで万全です。



化学的な視点と環境的な視点の両面から考えて、廃液をきちんと処理する姿勢を身に付けさせたいですね。

【化学的な視点】

配管等を腐食させないため

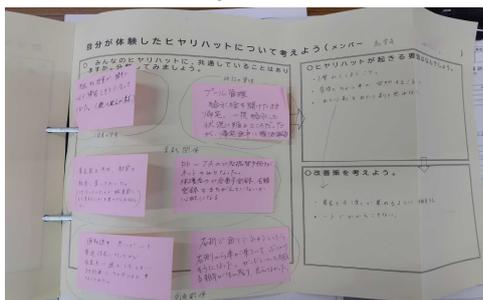
【環境的な視点】

環境を汚染させないため

服務倫理委員会 ～同僚性を生かす～

「信頼される学校づくりを職場の力で」を活用して事例研究を行ったり、チェックシートを活用して「自己の客観視」に取り組んだりする学校が多く見られました。

また、教職員の声反映されるように工夫するなど、同僚性を生かした取り組みを行っている学校もありました。



自分が体験したヒヤリハットを付箋に書き出し、共有した上で、対策等について協議を行いました。

同僚性を生かした、当事者意識を高めるための工夫ですね。